

政策体系	政策No.	5	政策名	たすけあい支えあうまちづくり			施策主管課	保健福祉政策課		
	施策No.	2	施策名	ところと身体健康づくりの推進	重点施策		施策主管課長名	徳田 忍		
施策関係課名		保険年金課、子育て支援課、長寿・障害福祉課、健康増進課、保健体育課、生涯学習課								
1 基本計画期間(平成25年度～平成29年度)における施策の方針										
<p>■「健康きりしま21(第2次)」及び「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、市民が健康で生きがいのある生活を送ることができるように、市民と行政が一体となった取組を行い、個人及び地域での健康づくり活動を推進する。</p> <p>■市民の健康意識の向上と健康づくり活動の実践により、健康の保持増進、疾病の予防・早期発見・早期治療・重症化防止を図る。</p>										
2 施策の目的と成果把握										
① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市民								
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
A	人口	人	見込み値	129,368	128,362	128,861	129,360	129,679	130,000	
			実績値	127,475	127,283	126,773				
B			見込み値							
			実績値							
C			見込み値							
			実績値							
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		ところと身体が健康になる								
◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%～105%未満) △目標を未達成(95%未満)										
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
A	心身共に健康であると感じている市民の割合	%	成り行き値	67.1	66.9	66.7	66.5	66.3	66.1	
			目標値	69.5	69.5	70.7	71.9	73.1	74.3	
			実績値	64.8	64.8	66.3				
			達成率	93%	93%	94%				
			結果	△	△	△				
B	日頃から何か健康管理を行っている市民の割合	%	成り行き値	90.4	92.7	92.5	92.3	92.1	91.9	
			目標値	94.3	91.9	92.3	92.7	93.1	93.6	
			実績値	91.0	89.9	90.2				
			達成率	97%	98%	98%				
			結果	○	○	○				
C			成り行き値							
			目標値							
			実績値							
			達成率							
			結果							
⑤ 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)				⑥ 平成29年度の目標値設定の考え方						
<p>A 心身共に健康であると感じている市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査</p> <p>B 日頃から何か健康管理を行っている市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査</p>				<p>A 「心身共に健康であると感じている市民の割合」については、市民意識調査で「心身ともに健康であると感じている」と回答した市民の割合が平成21年度から平成23年度までの間に年平均約1.2ポイントずつ増加しており、今後も健康霧島21(第2次)等に基づき各種事業を実施することから、同程度で推移すると見込まれるため、74.3%を目標値とする。</p> <p>B 「日頃から何か健康管理を行っている市民の割合」については、市民意識調査で「自分の健康のために、何か心がけていることがある」と回答した市民の割合が、平成19年度から平成23年度まではほぼ同率で推移していることを踏まえ、疾病の早期発見や予防、生活習慣の改善など健康増進の取組の重要性に照らし、健康意識が最も高かった40歳代の93.6%を目標値とする。</p> <p>C</p>						

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- 若い頃から、生活習慣病予防や健康づくりについて理解してもらう必要がある。
- 心の健康づくり施策(自殺予防対策等)については、地域ぐるみで取り組む必要がある。
- 医療費の抑制につながるような健康づくりを推進する必要がある。
- 健康生きがいがづくり推進モデル事業の継続的な取組や健康講座の充実を図るとともに、地域での健康づくり環境を整備し、市民が健康づくりに積極的に取り組むことができるように支援する必要がある。
- 事業所等が行っている健康づくり活動については、「健康きりしま21(第2次)」等の策定作業において現状把握を行い、連携した活動を展開していく必要がある。
- 「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、家庭・地域・事業所・学校等のあらゆる場で食育推進を図るため、関係機関、NPO団体等と連携していく必要がある。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア)行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ)市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
<ul style="list-style-type: none"> ■市 <ul style="list-style-type: none"> ・市の健康増進計画「健康きりしま21(第2次)」に基づき、各種保健事業の実施や、健康増進関連団体等との連携を図り、主体的な市民の参加を進めるための環境整備に努める。 ■県 <ul style="list-style-type: none"> ・県の健康増進計画「健康かごしま21」に基づき、市町村、健康増進関連団体と連携を図り、健康づくりを推進する。 ■国 <ul style="list-style-type: none"> ・国の健康増進計画「健康日本21」の基本理念、基本方針を示し、地方公共団体等と連携を図り、普及啓発、計画の評価、見直し等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■住民 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域において健康な生活習慣を身につけ、疾病の予防や早期発見、健康増進に努め、生涯にわたって自分の健康管理ができる。 ■保育園、幼稚園、小・中・高等学校 <ul style="list-style-type: none"> ・行政や健康増進関連団体と協働しながら幼少期からの食育等の推進など生活習慣病の予防に努める。 ■事業所 <ul style="list-style-type: none"> ・事業場の安全衛生管理体制を整え、従業員の健診や健康教育を実施し、生活習慣病などの予防に努める。 ■地域・健康増進関連団体 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の健康づくり活動を推進するために、行政と連携し住民の健康づくりを支援する。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 生活習慣病の増加や重症化、要介護高齢者の増加により医療費の増大が予想される。
- 更に高齢化が進むことから、地域包括ケアシステムの構築が求められている。

③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- 各年代に応じた心身の健康管理や疾病予防対策、地域の特性を活かした健康づくりの推進をしてほしい。(健康計画策定委員会)
- 乳幼児期からの食育の充実と口腔保健の充実を図ってほしい(保育園児をもつ保護者による食育のアンケート・健康計画策定委員会)
- 自ら健康づくりのできる施設の整備と利用促進を図ってほしい。(健康計画策定委員会)
- 医療費抑制の観点からも積極的に健康生きがいがづくり推進モデル事業に取り組んでほしいとの意見があった。(議会)
- 平成25年度に地域の健康生きがいがづくりには継続した事業実施が必要であるとの要望書が提出された。(地区自治公民館連絡協議会)

5 施策の現状

① 平成26年度施策の取組方針

- ①若いころから、生活習慣病予防や健康づくりについて理解してもらう必要があるため、学校、事業所等と連携し、健康教育等を行う。
- ②心の健康づくり施策(自殺予防対策等)については、地域ぐるみで取り組む必要があるため、健康生きがいが推進モデル事業などで啓発・普及を図る。
- ③医療費の抑制につながるような健康づくりを推進するため、特定健診等の受診率・特定保健指導の実施率の向上及び疾病の重症化予防に取り組む。
- ④健康生きがいがづくり活動の継続的な取組や健康講座の充実を図り、地域での健康づくりを支援する。
- ⑤事業所等が行っている健康づくり活動については、「健康きりしま21(第2次)」等の計画に則り、事業所等との連携を強化する。
- ⑥「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、家庭・地域・事業所・学校等のあらゆる場での食育推進を図るため、関係機関やNPO団体等と連携する。
- ⑦感染症の蔓延予防のため、子どもの予防接種についての普及啓発を行い、定期予防接種の接種率の向上に努める。
- ⑧歯の健康に関する知識の普及を図り、虫歯予防や歯周疾患予防に努める。
- ⑨健康づくりの意識啓発のため、健康マイレージ事業に取り組む。

② 平成26年度施策の取組方針の達成状況

- ①⑤⑥に関連した取組として、早寝・早起き・朝ごはんを推進するために健康教育等で普及啓発を行った。特に中学生に対しては食事バランスガイドの配布を行い、企業に対しては禁煙の推進も併せて行った。
- ②パンフレットを活用し、心の健康づくりの普及啓発を図った。
- ③④に関連した取組として、健康生きがいがづくり推進モデル事業や地域健康生きがいがづくり事業における地域での普及啓発や受診勧奨に努めた。
- ⑦子どもの予防接種については、安全な接種計画が立てられるように個別通知を行った。
- ⑧虫歯予防や歯周疾患予防のために歯科検診や歯周疾患検診を実施した。
- ⑨健康マイレージ事業の対象事業の拡大やFMきりしまでの広報等に取り組み応募者が増加した。

③ 平成26年度施策の目標値と実績値の比較		④ 平成26年度施策の成果指標の達成状況及び要因																																								
目標達成 ◎ 105%以上 目標をほぼ達成 ○ 95%～105%未満 目標を未達成 △ 95%未満		A 「心身共に健康であると感じている市民の割合」については、目標値には及ばなかったが、昨年度実績値に対しては、1.5ポイント増加した。また、40・50歳代については減少したものの、30歳代と60歳から64歳の割合が増加した。 B 「日頃から何か健康管理を行っている市民の割合」については、目標値には及ばなかったが昨年度実績値に対しては0.3ポイント増加した。「特に何も取り組んでいない」の割合が昨年度と同率であった。																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">平成26年度成果指標</th> </tr> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>70.7</td> <td>66.3</td> <td>94.0%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>92.3</td> <td>90.2</td> <td>98.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>E</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度成果指標					目標値	実績値	達成率	結果	A	70.7	66.3	94.0%	△	B	92.3	90.2	98.0%	○	C					D					E					F						
平成26年度成果指標																																										
	目標値	実績値	達成率	結果																																						
A	70.7	66.3	94.0%	△																																						
B	92.3	90.2	98.0%	○																																						
C																																										
D																																										
E																																										
F																																										
⑤ 基本事業の目標達成度		○=すべての目標値を達成 △=一部の目標値を達成 ×=すべての目標値を未達成																																								
(平成26年度目標と実績との比較)		① 市民の健康意識の向上	○ ⑤																																							
		② 心と身体の健康管理の実践・支援	△ ⑥																																							
		③ 健康づくり活動がしやすい社会環境づくり	△ ⑦																																							
		④ 食育の推進	○ ⑧																																							

6 平成27年度の施策の取組方針 (昨年度マネジメントシートより)		7 平成28年度に向けた施策の課題・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防や健康づくりについては、学童期から理解してもらう必要があるため、学校、事業所等と連携し、健康教育等を行う。 健康生きがい推進モデル事業などを活用し、心の健康づくり(自殺予防対策等)の啓発・普及を図り、地域ぐるみでの声かけや見守りを推進する。 生活習慣病予防のため、特定健診等の受診率・特定保健指導の実施率の向上及び疾病の重症化予防に取り組み、医療費の抑制につなげる。 健康生きがいづくり活動の継続的な取組や健康講座の充実を図り、地域での健康づくりを支援する。 「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、関係機関やNPO団体等と連携し、家庭・地域・事業所・学校等のあらゆる場での食育推進を図る。 感染症の蔓延予防のため、子どもの予防接種についての普及啓発を行い、定期予防接種の接種率の向上に努める。 歯の健康に関する知識の普及を図り、虫歯予防や歯周疾患予防に努める。 健康づくりの意識啓発のため、健康マイレージ事業に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防や健康づくりについては、学童期から理解してもらう必要があるため、学校、事業所等と連携し、健康教育等を行う。 健康生きがい推進モデル事業などを活用し、心の健康づくり(自殺予防対策等)の啓発・普及を図り、地域ぐるみでの声かけや見守りを推進する。 生活習慣病予防のため、特定健診等の受診率・特定保健指導の実施率の向上及び疾病の重症化予防に取り組み、医療費の抑制につなげる。 健康生きがいづくり活動の継続的な取組や健康講座の充実を図り、地域での健康づくりを支援する。 「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、関係機関やNPO団体等と連携し、家庭・地域・事業所・学校等のあらゆる場での食育推進を図る。 感染症の蔓延予防のため、予防接種についての普及啓発を行い、定期予防接種の接種率の向上に努める。 歯の健康に関する知識の普及を図り、虫歯予防や歯周疾患予防に努める。 健康づくりの意識啓発のため、健康マイレージ事業に取り組む。 健康きりしま21(第3次)の策定に向けた基礎調査を実施する。 	

基本事業No.	5-2-1	基本事業名	市民の健康意識の向上	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）

本市の健康づくり推進の基本的な方向性を定めた「健康きりしま21（第2次）」を推進し、市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌による継続的な情報提供に努める。

②対象	市民	③意図	自身の健康について関心を持ち、健康づくりのための知識を身に付ける
-----	----	-----	----------------------------------

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	栄養・運動・休養を心がけている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	21.0	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5
				目標値	30.0	19.5	19.9	20.3	20.7	21.1
				実績値	20.5	21.3	19.3			
				達成率	68%	109%	97%			
				結果	△	◎	○			
B				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 栄養、運動、休養を心がけている市民の割合は、平成23年度の実績値19.1%を基準として、毎年度0.4%ずつ増加していくと見込み、平成29年度の目標値を21.1%と設定した。

4 平成26年度基本事業の取組方針 **5 平成26年度基本事業の取組方針の達成状況**

<ul style="list-style-type: none"> ■「健康きりしま21（第2次）」の周知を図る。 ■市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌による継続的な情報提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康きりしま21（第2次）に基づき、COPD（慢性閉塞性肺疾患）認知度の向上やがん予防等について、広報誌や概要版を通じて周知した。 ■市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や市民が集まる機会を利用した健康講話を実施した。また、広報誌による継続的な情報提供に努めた。
--	---

6 平成26年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A 栄養、運動、休養を心がけている市民の割合は、19.3%で昨年度と比較して2.0ポイント下回ったが、目標を概ね達成できた。要因としては、栄養、運動、休養を心がけている65歳以上の割合は増加したものの、65歳未満の割合が減少している。

7 平成27年度基本事業の取組方針 **8 平成28年度に向けた基本事業の課題・方向性**

<ul style="list-style-type: none"> ■市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌等による継続的な情報提供に努める。特に、メタボリックシンドロームやCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の予防に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌等による継続的な情報提供に努める。
---	--

基本事業No.	5-2-2	基本事業名	こころと身体の健康管理の実践・支援	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	-------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<p>■ 疾病の早期発見を目的とした各種健康診査やメタボリック症候群の予防など各年代層に応じた保健事業を実施する。また、自殺対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。</p> <p>■ 感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。</p>	
②対象	市民
③意図	こころと身体の疾病予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
				A	健診を受診した市民の割合	%	健診実績 ※特定健診(法定報告より)	成り行き値 47.0 目標値 65.0 実績値 46.7 達成率 72% 結果 △	47.0 49.6 48.4 98% ○
B	こころの持ち方に気をつけている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値 44.5 目標値 52.0 実績値 42.2 達成率 81% 結果 △	44.1 44.8 43.8 98% ○	44.1 45.5 43.9 96% ○	44.1 46.2 46.2	44.1 46.9 46.9	44.1 47.8 47.8
C	予防接種率	%	予防接種実績 ※三種・四種混合、二種混合、麻しん・風しん混合(1期・2期)	成り行き値 77.0 目標値 84.0 実績値 77.5 達成率 92% 結果 △	78.0 86.2 84.1 98% ○	78.0 88.4 84.8 96% ○	78.0 90.6 90.6	78.0 92.8 92.8	78.0 95.0 95.0
D	*成果指標のBとCは、平成21年度から設定した。			成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果					

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 健診を受診した市民の割合は、国の第2期特定健康診査の実施計画に基づき平成29年度の目標値を60%と設定し、平成24年度以降、年2.6%ずつの成果向上を図ることとした。成り行き値は、直近3年の伸び率(1.5%)を勘案して平成24年度を47%と見込み、後年度は同率で推移すると推測した。

B こころの持ち方に気をつけている市民の割合は、平成23年度の市民意識調査の結果、年代区分で最も割合が高かった65歳～69歳代の47.8%を目標値として設定した。若い年代のこころの健康づくり支援に取り組むことで改善を図る。

C 予防接種率は、感染を防ぐには95%の接種率が必要であるという国の目標値に合わせて、平成29年度の目標値を95.0%と設定し、感染症の蔓延予防のために子どもの定期予防接種の未接種者に接種勧奨を行うことなどにより、毎年度2.2%ずつの伸びを見込んだ。

4 平成26年度基本事業の取組方針 **5 平成26年度基本事業の取組方針の達成状況**

<p>■ 疾病の早期発見を目的とした各種健康診査やメタボリック症候群の予防等、各年代層に応じた保健事業を実施する。</p> <p>■ 自殺対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。</p> <p>■ 感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。</p>	<p>■ 市民が集まる機会を捉えて受診の勧奨に努めたが、特定健診の受診率が低下した。がん検診については、目標値には、達しなかったが、肺がん検診の受診率と、大腸がん検診の男性の受診率が向上した。生活習慣病の予防や重症化予防のために、検診の事後指導や、特定保健指導を実施し生活改善が図られるように努めた。</p> <p>■ 自殺予防のために心の相談の実施や市民向けの講演会の開催、関係者向けの研修会を実施した。</p> <p>■ 感染症の蔓延予防のために、機会を捉え接種勧奨の周知を行い予防接種率の向上に努めた。</p>
--	--

6 平成26年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

■ 健診を受診した市民の割合は、昨年よりも、受診者は9名増加したものの、対象者が1,156名増加したため、割合は2.8ポイント減少した。要因としては、40～64歳の受診率が42.32%と全体に対して低かったことが考えられる。

■ こころの持ち方に気をつけている市民の割合は0.1ポイント増加し、概ね目標を達成できた。

■ 予防接種率については、昨年度より、1.0ポイント減少した。要因の1つとしては、今年度途中から、それまで任意接種であった水痘や高齢者肺炎球菌ワクチン接種が定期予防接種になり、定期予防接種率に任意接種者を反映できなかったことが考えられる。

7 平成27年度基本事業の取組方針 **8 平成28年度に向けた基本事業の課題・方向性**

<p>■ 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。</p> <p>■ 自殺予防対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。</p> <p>■ 感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。</p>	<p>■ 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。</p> <p>■ 自殺予防対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。</p> <p>■ 感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。</p>
--	--

基本事業No.	5-2-3	基本事業名	健康づくり活動がしやすい社会環境づくり	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	---------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）

- 健康づくり活動を行うボランティアやNPO団体等の活動を支援し、互いに連携を図りながら、市民参画による健康づくりを推進する。
- 公民館講座などを充実し、健康生きがいを支援する。
- 市民が楽しみながら健康づくりに取り組み、住み慣れた地域で触れ合いながら地域ぐるみの健康づくりができるよう支援する。

②対象	・市民、保健医療機関、地域・家庭、事業所、ボランティア団体、教育関係機関など	③意図	健康づくりに取り組みやすい環境が整う
-----	--	-----	--------------------

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
					成り行き値	目標値	実績値	達成率	結果	
A	社会福祉、健康づくりの地域活動に参加している市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	4.1	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2
				目標値	6.0	16.2	17.2	18.2	19.2	20.0
				実績値	12.6	14.9	11.7			
				達成率	210%	92%	68%			
				結果	◎	△	△			
B	健康生きがいをづくり推進モデル事業等に取り組んでいる自治公民館の数	地区	健康生きがいをづくり推進モデル事業等の実績	成り行き値	67	71	82	57	36	71
				目標値	82	89	82	57	36	18
				実績値	70	89	82			
				達成率	85%	100%	100%			
				結果	△	○	○			
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 地域活動に参加する市民の割合は徐々に増加しており、平成29年度の目標値は今後も増加傾向にあると見込み、市民意識調査の年代区分のうち65歳～69歳の20.0%を目標値として設定した。
 B 健康生きがいをづくり推進モデル事業は地区自治公民館を実施主体とし、5年を計画期間として取組を進めている。このことから、すべての地区が5年間取組むよう各年度対象地区数を目標値として設定した。

4 平成26年度基本事業の取組方針 5 平成26年度基本事業の取組方針の達成状況

<ul style="list-style-type: none"> ■市民参画による健康づくりを推進するため、健康づくり活動を行うボランティアやNPO団体等の活動を支援する。 ■健康生きがいをづくりを支援するため、公民館講座などを実施する。 ■市民が住み慣れた地域で触れ合いながら地域ぐるみの健康づくりができるよう、健康生きがいをづくり事業等を推進する。 ■健康づくりの意識啓発のため、健康マイレージ事業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康運動普及推進員や食生活改善推進員の円滑な活動を支援することで、市民の健康づくりを推進した。 ■保健師の派遣、出前講座などにより、地域の健康生きがいをづくりを支援した。 ■健康生きがいをづくり推進モデル事業又は地域健康生きがいをづくり事業について、全地区自治公民館で実施された。 ■健康マイレージが浸透しつつあり、健康づくりへの意識の高まりから大幅に参加者が増加した。
---	---

6 平成26年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A 社会福祉、健康づくりの地域活動に参加している市民の割合については、昨年より3.2ポイント減少した。同地域活動に参加している60歳代の割合が前年度と比較して10.6ポイント減少したことが主な要因である。
 B 健康生きがいをづくり推進モデル事業は、平成21年度から25年度まで5年間取組んだ7地区を除く82地区自治公民館で実施された。また、平成26年度に新設した「地域健康生きがいをづくり事業」は、前述の7地区自治公民館で実施され、合わせると全地区自治公民館で取組まれた。

7 平成27年度基本事業の取組方針 8 平成28年度に向けた基本事業の課題・方向性

<ul style="list-style-type: none"> ■市民参画による健康づくりを推進するため、健康づくり活動を行うボランティア団体等の活動を支援する。 ■市民が住み慣れた地域で触れ合いながら地域ぐるみの健康づくりができるよう、健康生きがいをづくり事業等を推進する。 ■健康づくりの意識啓発のため、健康マイレージ事業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民参画による健康づくりを推進するため、健康づくり活動を行うボランティア団体等の活動を支援する。 ■市民が住み慣れた地域で触れ合いながら地域ぐるみの健康づくりができるよう、健康生きがいをづくり事業等を推進する。 ■健康づくりの意識啓発のため、健康マイレージ事業に取り組む。
---	---

基本事業No.	5-2-4	基本事業名	食育の推進	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	-------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）

- 「霧島市食育推進計画（第2次）」に基づき、家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。
- 食生活改善推進員の活動を推進するとともに、学校、生産者、NPO団体等との連携を図る。

②対象	市民	③意図	正しい食生活の意識を持ち実践することができる
-----	----	-----	------------------------

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	朝食を毎日摂っている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	78.8	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6
				目標値	85.0	84.2	84.4	84.6	84.8	85.0
				実績値	85.6	84.8	83.9			
				達成率	101%	101%	99%			
				結果	○	○	○			
B	地域や職場で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	30.1	33.2	33.2	33.2	33.2	33.2
				目標値	34.0	34.8	35.6	36.4	37.2	38.0
				実績値	35.4	35.2	34.5			
				達成率	104%	101%	97%			
				結果	○	○	○			
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

- A 朝食を摂っている市民の割合は、平成24年度の実績値を84.0%と推測し、これを基準に毎年度0.2%ずつ増加すると見込んで、最終年度の目標値を85.0%とした。成り行き値は平成23年度の実績値で推移すると想定した。
- B 学習の場に参加した市民の割合は、平成23年度の実績値を基準に、平成23年度までの過去5年間の年平均伸び率が0.8%であったことから、今後も毎年度0.8%ずつ増加していくと見込み、平成29年度の目標値を38.0%と設定した。成り行き値は平成23年度の実績値とした。

4 平成26年度基本事業の取組方針 | **5 平成26年度基本事業の取組方針の達成状況**

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■健康生きがいづくり活動の継続的な取組や健康講座の充実を図り、地域での健康づくり環境を整備する。 ■食べ方に関心をもってもらうため、歯の健康に関する知識の普及を図る。 ■家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。（日本型食生活の推進） ■若いころから、生活習慣病予防や健康づくりについて理解してもらう必要があるため、食生活改善推進員の活動を推進するとともに、学校や生産者、NPO団体等と連携する。 | <ul style="list-style-type: none"> ■健康生きがいづくり推進モデル事業等で食育の推進を図った。 ■離乳食教室や、母子健診等で歯の健康に関する知識の普及を図った。 ■学校、イベント、教室等で食事バランスガイドを配布し、主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい日本型食生活を推進した。 ■若いころから、生活習慣病予防や健康づくりについて理解してもらう必要があるため、食生活改善推進員の活動を推進するとともに、学校や生産者、NPO団体等と連携し食育を推進した。 |
|--|--|

6 平成26年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

- A 目標値については概ね達成しているが、20代の朝食の摂取率が他の世代に比べてかなり低くなっている。
- B 学習の場に参加した市民の割合は、20代、30代が特に低い。

7 平成27年度基本事業の取組方針 | **8 平成28年度に向けた基本事業の課題・方向性**

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■歯の健康に関する知識の普及を図る。 ■家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。 ■学童期からの生活習慣病予防や健康づくりを進めるために、学校を中心に食生活改善推進員と連携した取り組みを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■歯の健康に関する知識の普及を図る。 ■家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。 ■学童期からの生活習慣病予防や健康づくりを進めるために、学校を中心に食生活改善推進員と連携した取り組みを行う。 ■欠食のない規則正しい食生活(早寝・早起き・朝ごはん)の推進を年間目標として、各関係団体と連携して取り組む。 |
|--|--|